

埼玉県を取り巻く コンテナ流動の状況



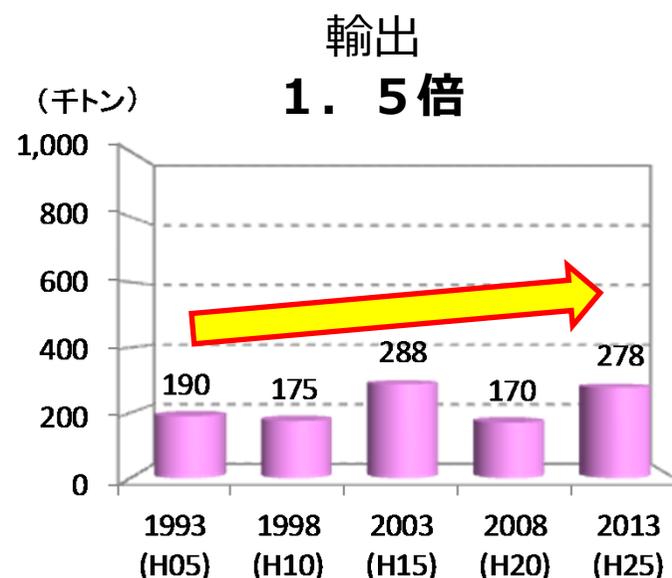
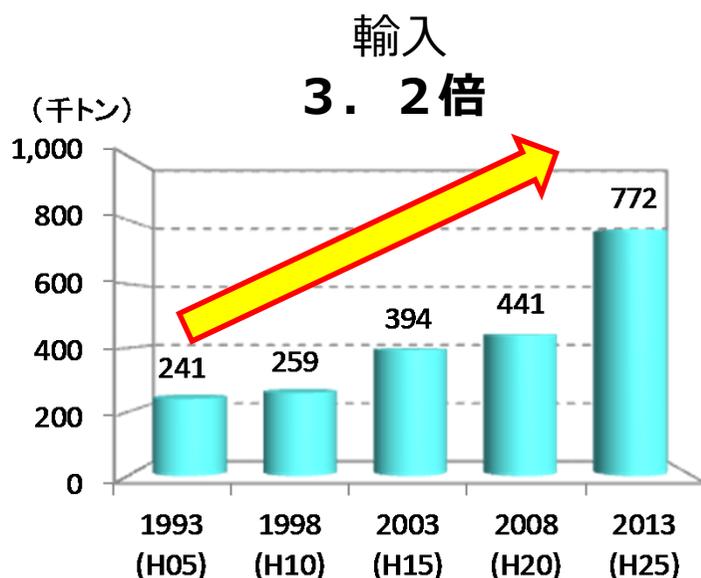
平成27年7月22日 平成27年度第1回埼玉県コンテナラウンドユース推進協議会

埼玉県 都市整備部 都市計画課



コンテナ貨物量の推移

○埼玉県の輸出入コンテナ貨物量は、近年、輸入を中心に大きく増加。
20年間で、輸入3.2倍、輸出1.5倍

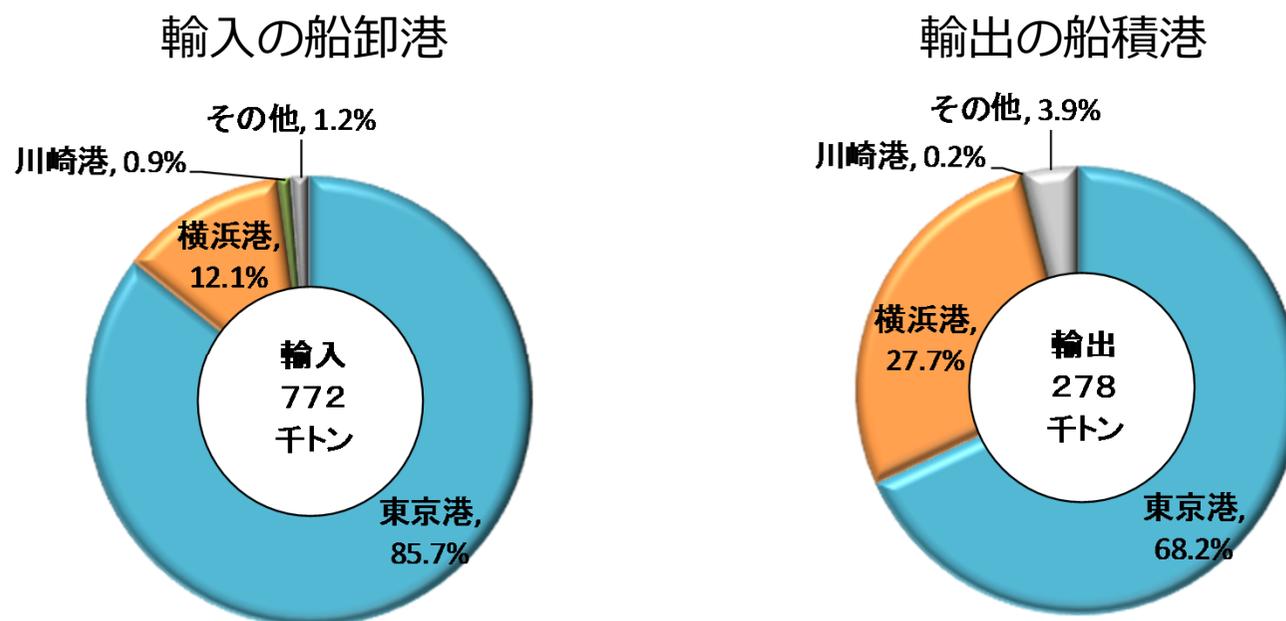


資料:「全国輸出入コンテナ貨物流動調査」(国土交通省、H5~H25)に基づき作成。
※H5~H20は10月、H25は11月に実施した調査(1ヶ月間調査)。
※埼玉県を輸入の消費地、輸出の生産地とする貨物量(フレートン)。
※なお、2008年値は、2008年9月15日リーマンショックの影響で全国的に少ない。



コンテナ貨物の輸出入港

○埼玉県の輸出入コンテナ貨物のほとんどは、東京港と横浜港から出入している。



資料:「全国輸出入コンテナ貨物流動調査」(国土交通省、H25)に基づき作成。
※埼玉県を輸入の消費地とする貨物の船卸港、埼玉県を輸出の生産地とする貨物の船積港。

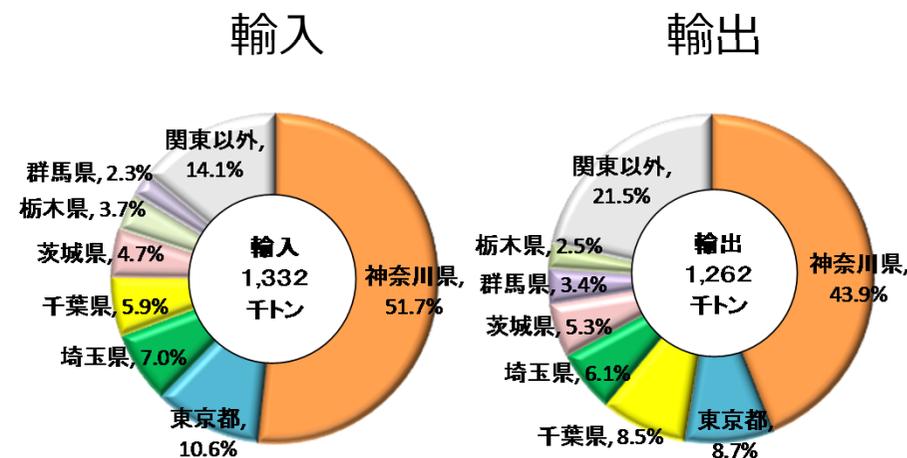
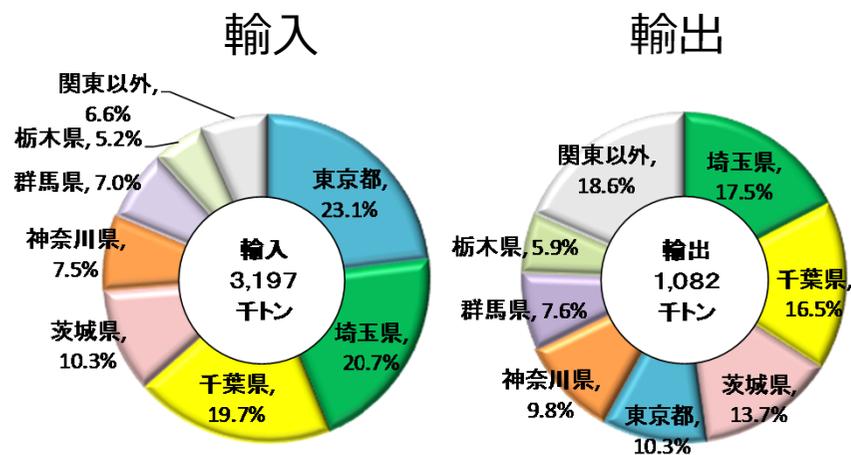


コンテナ貨物の輸出入港

○東京港では、埼玉県貨物が、輸入の20.7%、輸出の17.5%を占める。
 ○横浜港では、埼玉県貨物が、輸入の7.0%、輸出の6.1%を占める。

東京港

横浜港



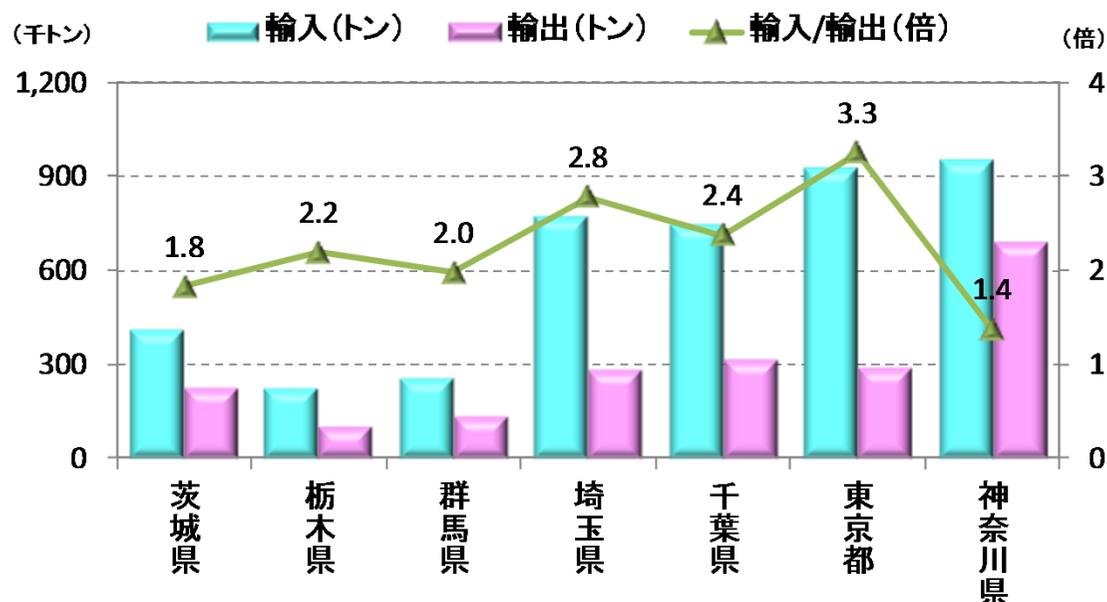
資料:「全国輸出入コンテナ貨物流動調査」(国土交通省、H25)に基づき作成。
 ※各港における輸入貨物の消費地、輸出貨物の生産地。



コンテナ貨物の輸出入比

- 埼玉県は内陸県ではあるが、輸出入コンテナ貨物量は多い。
- 輸出入比はどの都県でも入超であり、埼玉県でも輸入が輸出の2.8倍と入超である。

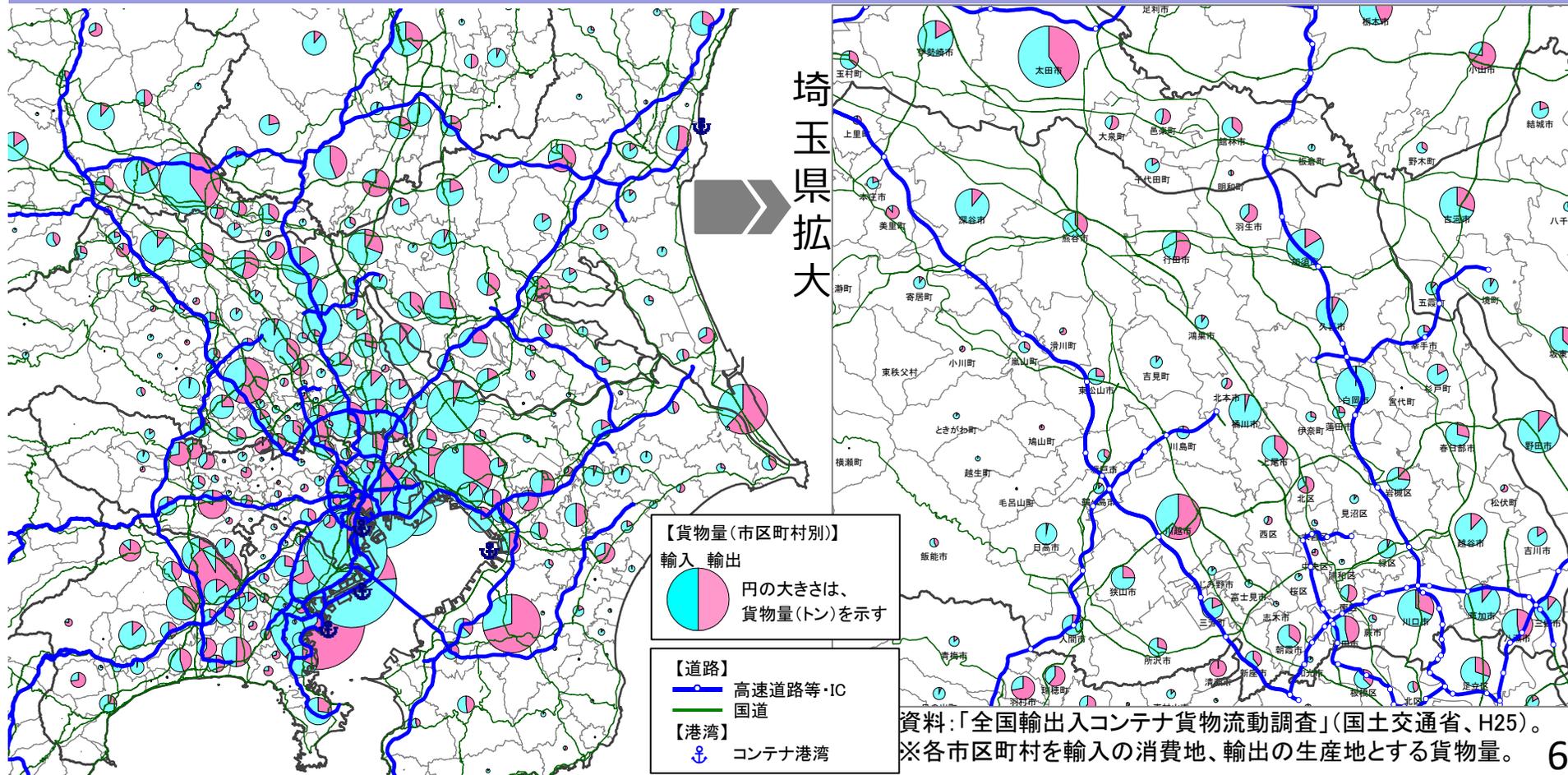
輸出入比 2.8倍と入超



資料:「全国輸出入コンテナ貨物流動調査」(国土交通省、H25)に基づき作成。
 ※各都県を輸入の消費地、輸出の生産地とする貨物量。



地域別コンテナ貨物量



埼玉県拡大

【貨物量(市区町村別)】
輸入 輸出
円の大きさは、
貨物量(トン)を示す

【道路】
— 高速道路等・IC
— 国道
【港湾】
⚓ コンテナ港湾

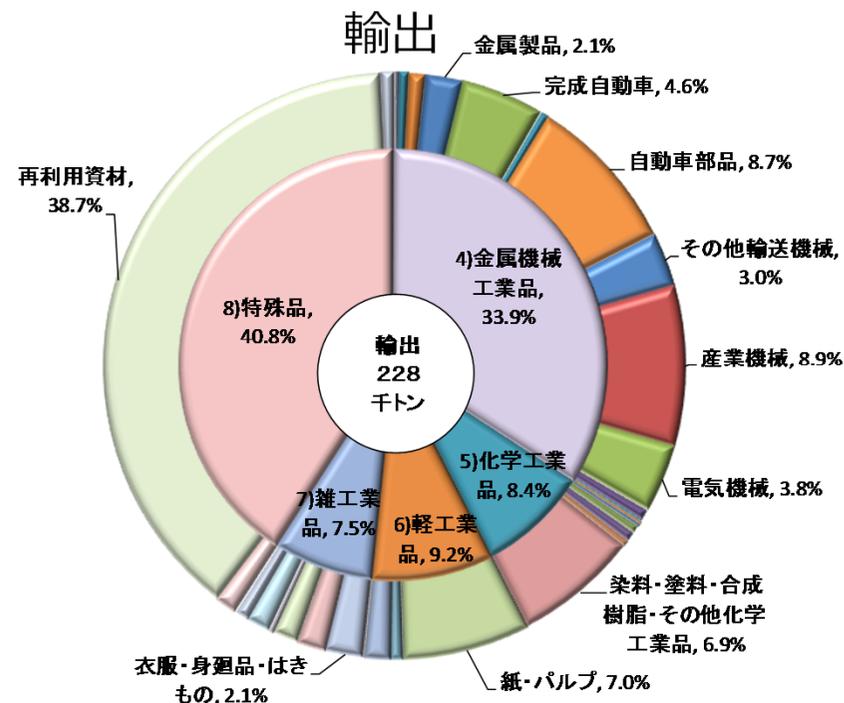
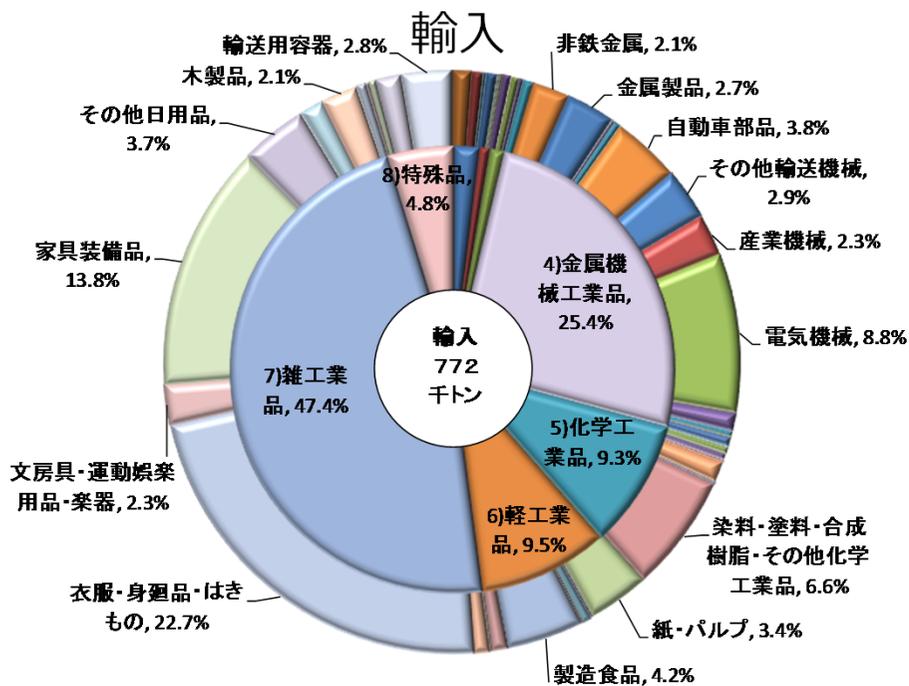
資料:「全国輸出入コンテナ貨物流動調査」(国土交通省、H25)。
※各市区町村を輸入の消費地、輸出の生産地とする貨物量。

コンテナ貨物の品目

○埼玉県の輸出入コンテナ貨物の品目

輸入：衣服・身廻品・はきもの22.7%、家具装備品13.8%、電気機械が8.8%

輸出：再利用資材(古紙、廃プラスチック等)38.7%、産業機械8.9%、自動車部品8.7%



資料：「全国輸出入コンテナ貨物流動調査」(国土交通省、H25)に基づき作成

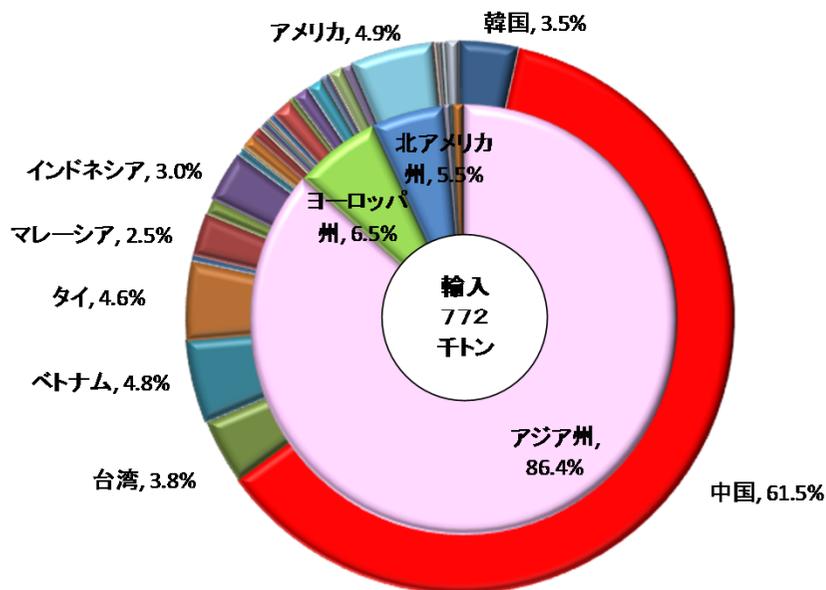
※埼玉県を輸入の消費地、輸出の生産地とする貨物



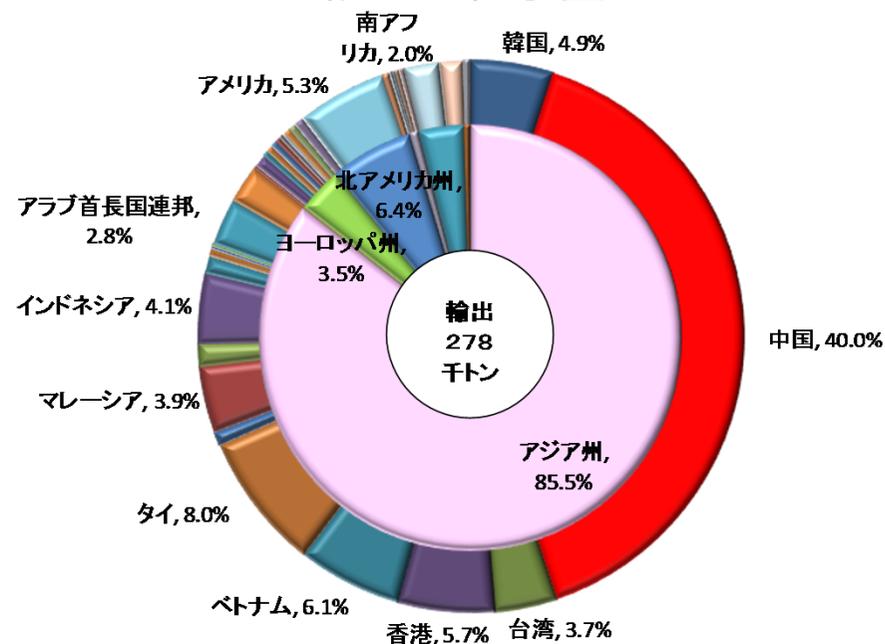
コンテナ貨物の輸出入相手国

○埼玉県のコンテナ貨物の輸出入の相手国は、中国などアジアが大半
 輸入：中国61.5%などアジア州が86.4%、輸出：中国40.0%などアジア州が85.5%

輸入の相手国



輸出の相手国

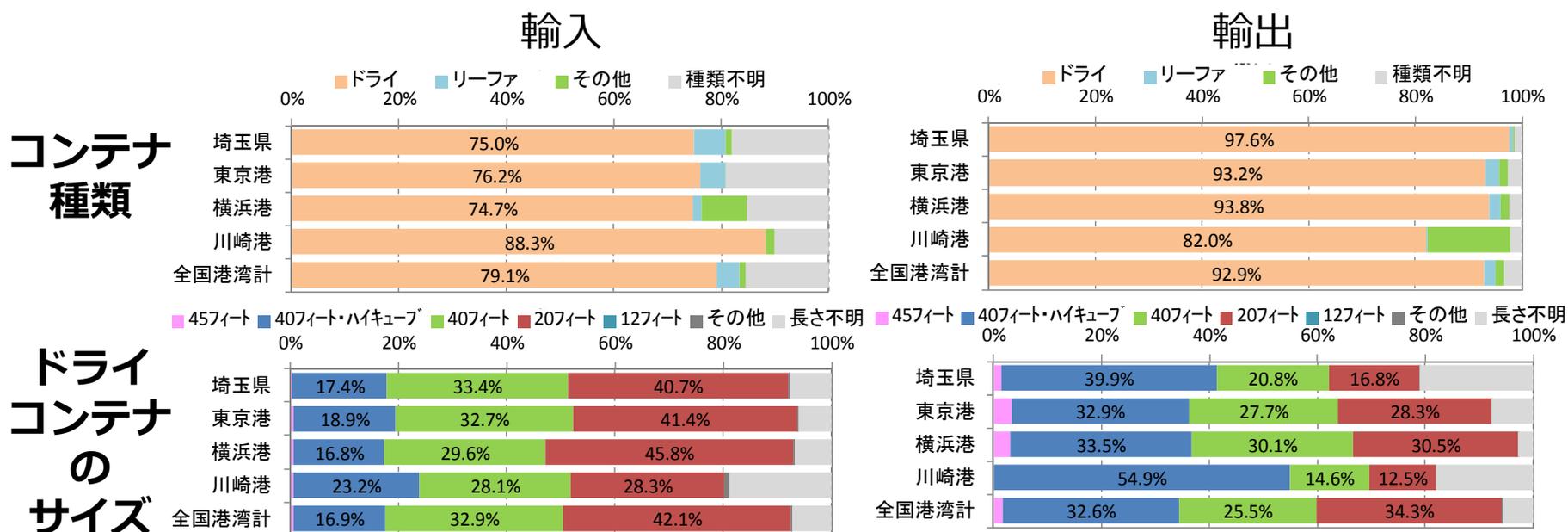


資料：「全国輸出入コンテナ貨物流動調査」(国土交通省、H25)に基づき作成 ※埼玉県を輸入の消費地、輸出の生産地とする貨物



コンテナ種類・サイズ

- コンテナの種類は、ドライコンテナが大部分
- ドライコンテナのサイズは、40フィート・ハイキューブ、40フィート、20フィートが1／3ずつ



資料:「全国輸出入コンテナ貨物流動調査」(国土交通省、H25) に基づき作成。コンテナ本数ベースの集計値。
 グラフの埼玉県とは輸入の消費地又は輸出の生産地が埼玉県の貨物。港湾別には埼玉県以外の貨物も含む。